

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 2年 中島 愛梨 (なかじま あいり)

留学期間 令和元年7月25日 ~ 令和元年8月10日 (17日間)

留学先 セント・ジョンズ・グラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私はこの夏オーストラリアに短期留学をしました。この留学を決めた理由は2つあります。1つ目は、小学生の頃から英語の授業がとても好きで、英語を活かせる職業に就きたいと考えていたからです。2つ目は、私の代から大学入試が変わり、スピーキング力やリスニング力が重要視されるようになるので、それらの力をつけたいと思ったからです。

留学の日が近づくにつれて、不安がだんだんと大きくなっていきました。向こうでの暮らしに慣れることができるかどうか、ホストファミリーときちんとコミュニケーションをとることができるのだろうか、緊張していました。しかし、そんな不安とは裏腹に、今回の短期留学は私にとって一生忘れることのできない経験となりました。現地の学校での生活や、ホストファミリーと過ごす日常、オーストラリアの環境全てが私にとって新鮮でした。

現地の学校では、ESLという日本人生徒だけの英語の授業や、ホストシスターと一緒に受ける授業、美術、家庭科の授業に参加しました。私が通ったセント・ジョンズ・グラマースクールは、生徒と先生の距離がとても近く、授業中も質問があれば生徒はその場で先生に質問しており、日本の学生のように、恥ずかしいと思ったりする様子は全くありませんでした。また、私が日本人代表として参加した、6カ国の生徒が地球温暖化について話し合う会議では、日本以外の5カ国の生徒が、ノートや筆記用具を持たずコンピュータを使用して原稿やメモを打ち込んでいました。私はそこで、日本の教育の遅れを感じた気がしました。日本でも、環境のためにコンピュータを使用した教育を推進するべきではないかと思いました。

私が出国前に一番心配していた、ホストファミリーとのコミュニケーションも全く問題なく楽しむことができました。また、オーストラリアの人たちはとても優しく、他人であってもまるで友達かのように親しく接していました。私はそんなオーストラリアの人々が大好きになりました。

今回の短期留学は、私にとってかけがえのない経験となり、ずっと決まらなかった将来の夢を見つける機会となりました。短期留学に行かせてくれた両親に感謝したいと思います。